

令和 5 年度 特別の教育課程の実施状況及び評価等について

守谷市立大井沢小学校

1 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程を編成・実施する学校

守谷市立大井沢小学校

(2) 特別の教育課程の概要

守谷市保幼小中高一貫教育のスローガン「世界に輝く人づくり」を目指し、急速に進展するグローバル化に対応することができる人材を育成するため、小学校1年生～2年生において、生活科の35時間分（1年生は34時間分）を設定する。「英語活動」においては、守谷市独自に配置している外国語指導助手（ALT）との交流の機会を多く設け、体験的な活動をとおして外国語や異文化を理解し、自他の文化や価値を尊重することができるグローバルな視野や態度の素地を育む学習を行う。

(3) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する 必要性

守谷市では、保幼小中高一貫教育「きらめきプロジェクト」を推進し、就学前の保育所等でも、英語を用いた遊びなどを積極的に取り入れたり、外国人講師との英語での交流機会を設けたりしている。この保幼小中高一貫教育としての継続性から、就学前の学びを小学校入学後においても継続する必要性がある。

また、外国語教育に関する意識調査からも、外国語に係る学習への興味・関心が高い児童の割合が高く、将来は国際社会で活躍することを希望する児童生徒も多い。保護者からも本市の外国語教育に係る取組に対して高い支持を得ており、特別の教育課程を編成する必要がある。

(4) 特例の適用開始日

平成 23 年 4 月

平成 30 年 4 月 変更

平成 31 年 4 月 変更

令和 2 年 4 月 変更

令和 6 年 4 月 継続

(5) 取組の期間

令和 8 年 3 月 31 日まで

2 特別の教育課程の編成・実施計画に基づく実施状況

- 計画通り実施できている
- 一部、計画通り実施できていない
- ほとんど計画通り実施できていない

3 特別の教育課程に基づく教育の実施状況に関する自己評価結果

(1) 第1学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	65
楽しい	32.5
あまり楽しくない	2.5
楽しくない	0

② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	81.3
楽しい	15
あまり楽しくない	3.7
楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	80
話せるようになりたい	10
あまり話せるようになりたくない	7.5
話せるようになりたくない	2.5

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	81.3
知りたい	10
あまり知りたくない	3.7
知りたくない	5

(2) 第2学年児童による評価

① 英語活動の時間は、楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	57.4
楽しい	39.3
あまり楽しくない	3.3
楽しくない	0

② ALTの先生といっしょの活動は楽しいですか。

	割合(%)
とても楽しい	68.9
楽しい	31.1
あまり楽しくない	0
楽しくない	0

③ 英語をもっと話せるようになりたいですか。

	割合(%)
とても話せるようになりたい	72.1
話せるようになりたい	27.9
あまり話せるようになりたくない	0
話せるようになりたくない	0

④ 外国のことをもっと知りたいと思いますか。

	割合(%)
とても知りたい	55.7
知りたい	39.3
あまり知りたくない	4.9
知りたくない	0.1

(3) 保護者による評価

① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	77.5
よい	21.7
あまりよくない	0.8
よくない	0

② お子様は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	22.5
楽しみにしている	65.9
あまり楽しみにしていない	9.3
楽しみにしていない	2.3

③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、お子様が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	17.1
増えていると思う	62.8
あまり増えていると思わない	17.8
思わない	2.3

④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、お子様に力が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。(複数回答可)

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	31
(英語を) 聞く力	43.4
(英語を) 話す力	42.6
(英語を) 読む力	3.9
(英語を) 書く力	7
分からない	22.5

- ⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。ご意見等があれば、お聞かせください。

- ・モジュールや自学タイムなどで英語に触れる機会を増やしてほしい。
- ・英語の授業を増やして欲しい。
- ・外国語でのコミュニケーションの楽しさを味わえる活動をしてほしい。
- ・レベルの高い子でも伸びる教育
- ・話す聞く読む書く力を伸ばしてほしい。
- ・DMM 英会話の補助制度を復活させてほしい。
 - ・中学校の英語は、小学校で基礎的な表現や文法を取得済みとして始まるため、ギャップがないように指導してほしい。
- ・読み書きなど、中学校の予習のような授業はしないでほしい。
- ・読み書きや文法も取り入れてほしい。
- ・外国人と触れあえる環境を増やしてほしい。

(4) 学校関係者（教職員）による評価

- ① 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることについて、どのようにお考えですか。

	割合(%)
とてもよい	100
よい	0
あまりよくない	0
よくない	0

- ② 児童は、外国語教育の時間を楽しみにしていますか。

	割合(%)
とても楽しみにしている	100
楽しみにしている	0
あまり楽しみにしていない	0
楽しみにしていない	0

- ③ 小学校1年生から外国語教育に取り組んでいることで、児童が英語を繰り返し学ぶ機会が増えていると思いますか。

	割合(%)
とても増えていると思う	100
増えていると思う	0
あまり増えていると思わない	0
思わない	0

- ④ 小学校1年生から外国語教育に取り組むことで、児童が身に付いているとお感じになることはどんなことですか。（複数回答可）

	割合(%)
積極的に楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度	100
(英語を) 聞く力	50
(英語を) 話す力	50
(英語を) 読む力	100
(英語を) 書く力	50
分からない	0

⑤ 今後の小学校の外国語教育について、どのようなことを希望しますか。

- ・英語を使ったコミュニケーション活動を楽しめるように工夫してほしい。
- ・オンライン英会話を児童の実態に応じて柔軟に対応できるようにしてほしい。
- ・W i f i 環境をよくしてほしい。

4 実施の成果と今後の課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により目指す学校の教育目標達成の成果

1年生から週に1度ネイティブスピーカーの英語に触れる機会があることで、英語への抵抗が少なく、外国の人と英語でコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながった。より早い学年から本物の英語に慣れ親しむことで、英語を教科ではなく、ツールとして捉えようとする意欲が生まれた。

6年生が12月に実施した「英語 ESG」では、団体平均総合スコアが463点であった。総合・リスニング（聞くこと）・リスニング（読むこと）の三つの観点全てにおいて、前回の平均スコアより点数が向上した。大問別平均正答率は、三つの観点においておよそ90%を獲得した。

(2) 教育課程全体としてバランスのとれた教育活動が実施され、学校教育法に示す学校教育の目標達成の成果

1・2年生は、英語が楽しいと感じられるような活動を多く取り入れるようにした。その中で、英語の歌やゲームだけでなく、「Do you like ~?」と英語でコミュニケーションが取れるように1年生から会話の練習にも取り組んだ。ALTと会話成り立ったことに達成感を得られた児童の姿が見られた。また、2年生では、1年生で得た経験を元に「What sea animal do you like?」とレベルアップした会話ができるようになった。

どの学年でもALTと一対一で会話をする場面を設定し、外国の人と英語で会話ができるという達成感を得られるようにした。伝わったときにはとても嬉しそうな表情が見られ、自信の向上につながった。

(3) 今後の課題

一人一人が英語活動に意欲的に取り組めるように、英語を使って外国人に通じるという達成感をより得られるようにしたい。また、どのように成長したか自分自身で感じられるように振り返りの時間や仕方を工夫したい。

5 授業の様子

